

「出張ボランティア相談」始めました!!

昨年11月から始めたこの取り組みは、「毎月1回」市内13地区のごこかへ伺い「ボランティアに関するお悩みを伺う」というものです。今までは事務所に来ていただく、問い合わせいただくことでご相談を受けておりましたが令和6年度のボランティア大学修了生より、「何を相談したら良いかも分からない」「そのために、問い合わせもできないし、市社協まで行かない」というご意見をいただきました。そこであれば「事務所から外に出よう!」ということで、地域にあるボランティアセンターの一角をお借りし、ボランティアに関する相談を実施することにしました。

ボランティアの対象や内容は、「身近な地域を対象とする活動」があれば、「地域全体を対象とする活動」、「高齢者を対象とする活動」があれば、「障がい者や子どもを対象とする活動」ビーチクリーンなどの環境を対象とする活動」など、多岐にわたっています。

また、「ボランティアにサポートをお願いしたい」という、支援を希望されるご相談もお受けしております。各種制度やサービスには限界もしくは制限があり、制度の狭間で苦勞されている方も多くいらっしゃいます。もちろん、ボランティアにも「できること・できないこと」



はありますが、ボランティアの方々のご厚意のもと、「独居高齢者等のお話し相手」や「視覚障がい者のお散歩の同行や朗読」など、さまざまな支援があります。



「ボランティアしてみたい」「ボランティアの支援を受けたい」「保険のこと」など具体的なご相談はもちろん、「これ聞いて良いのかな?」というちょっとした疑問でも結構です!お近くで実施する場合はぜひお越しただければ幸いです。気になる実施日や場所等ですが、市社協が毎月発行しているボランティア募集情報紙「OPEN THE DOOR」に掲載しています。紙面だけでなく、市社協の公式LINEやホームページでもご覧いただけますので、ぜひチェックしてください!

「できることが、できることを!」

「子育てがひと段落して時間ができたな...」「退職して時間ができたけど何しよう...」「ひとりで住んでいるけど、ちょっと話を聞いてほしいな...」など、ちょっとしたお悩みお聞かせください!

本紙1面の「ボランティア大学」では、これからボランティアを始めようという方向けの講座をご案内しています。各種体験はもちろん、ボランティアについての分かりやすい講義を実施します。ご興味のある方はぜひ受講してください!

今年も赤い羽根の輪が茅ヶ崎市に広まりました



赤い羽根共同募金中間報告

赤い羽根募金
13,836,156円

募金総額(R7.1.31現在)
21,108,291円

年末たすけあい募金
7,272,135円

赤い羽根募金の主なつかいみち

- 民間社会福祉施設の整備
- 地区社会福祉協議会の活動
- 大規模災害時の被災地支援



年末たすけあい募金の主なつかいみち

- 生活に困っている方への配分
- ねたきり・認知症の高齢者を在宅介護している方への激励
- 障害者の余暇支援活動への配分

福祉作文コンクール受賞

次世代を担う子どもたちの“おもいやり”や“たすけあい”の心を育み、「ともに生きる福祉社会」の実現を目指し始められたこのコンクールには、昭和52年の開始以来、毎回多くの子どもたちが参加しています。

今年度の第47回 神奈川県福祉作文コンクールでは茅ヶ崎市から2篇の受賞がありました。

〈中学生の部〉

準優秀賞

『祖母との関わり方』
茅ヶ崎市立第一中学校2年 江種 菜月さん

準優秀賞

『あの子が教えてくれたこと』
茅ヶ崎市立第一中学校1年 薄葉 咲奈さん



赤い羽根共同募金は、10月1日から3月31日までを募金期間として実施しています。引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

まだまだ募金受付中です